

重要文化財の指定について

指定名称：「徳島県矢野遺跡出土品」

国宝・重要文化財（美術工芸品）〈考古資料〉の指定件数

全国の状況

新規指定件数		合 計
国 宝	重要文化財	
0	7	6 4 7 (4 7)

(注) 合計欄括弧内の数字は国宝の件数で、内数である。

本県関係

新規指定件数		合 計
国 宝	重要文化財	
0	1	4 (0)

教育文化課

名 称	徳島県矢野遺跡出土品（とくしまけんやのいせきしゅつどひん）
所 蔵	徳島県 徳島県立埋蔵文化財総合センター保管
点 数	160点
指 定 基 準	一．土器、石器、木器、骨角牙器、玉その他縄文時代及びそれ以前の遺物で学術的価値の特に高いもの
特 徴・評 価	<p>徳島市西方，鮎喰川左岸の扇状地上に営まれた縄文時代の集落跡からの出土品。徳島南環状道路建設に先立つ調査で，縄文時代から古代まで，幅広い時期の遺構・遺物が検出され，埋納された状態で発見された突^{とつせんけ}線袈裟^{きだすきもんどうたく}襷文銅鐸は，「矢野銅鐸」と呼ばれ，平成7年に重要文化財に指定されている。</p> <p>縄文時代の集落跡は，遺跡の北寄りに集中し，竪穴住居跡や河川の流路跡などから，縄文時代後期初頭を中心とした多量の土器・石器が出土した。</p> <p>本件はその一括で，なかでも全面に刺突文がある円形の土面^{どめん}は，わが国で最も古く，また現在のところ最も西からの出土例として注目される。また，水銀朱^{すいぎんしゆ}を含む赤色顔料が付着した資料や，全形が遺存する縄文土器は，西日本における縄文土器研究の指標となる。</p> <p>これらは，西日本を代表する大規模な縄文時代集落遺跡の出土品一括であり，その学術的価値は高い。</p>



土面（1点）



土器類（54点）



石器類（105点）